

質問（八木英子議員）広報等で市民には説明書が配布されておりますが、市民がどれだけ理解をしているでしょうか。現状はどのようなになっているのか伺います。

答弁（市長）新制度を円滑に実施するため、国においては政府広報媒体としてテレビ、ラジオ、新聞、雑誌、視聴覚障害者向け音声広報や点字広報紙等を活用し、一般国民向け広報について幅広くかつ集中的に実施することとしてい

後期高齢者医療制度の 周知について

であります。特に保険料の仕組みや構成世帯別の保険料負担額や自分の保険料を試算できるように工夫したチラシなども配布しております。保険料の徴収部署においては、効率の良い徴収体制づくりを目指しており、本市の担当窓口の職員が親切丁寧な対応をできるように努めております。市民の皆様の意見の反映には、栃木県後期高齢者医療広域連合議会が設けられており、今後も栃木県後期高齢者医療広域連合とさらなる連携を図り、引き続き広報紙等を通じ制度の周知徹底を図りたいと考えております。



那須与一伝承館内『扇の劇場』

那須与一伝承館管理の 運営について

質問（小野寺尚武議員）与一伝承館関連施設の今後の管理運営について伺います。

答弁（市長）那須与一伝承館は、那須家三十六代当主那須隆氏から、那須家に代々伝わる貴重な資料を本市に寄託していただける意向が示され、その展示・収蔵施設として昨年十月に完成した施設で、道の駅那須与一の郷も、この那須与一伝承館が完成したことで、道の駅の施設全館完成によ

る機能充実と那須与一伝承館とが相乗効果を高め、本市の新たな観光拠点施設として県内外に情報発信ができるものと期待しております。那須与一伝承館には観光施設としての側面と文化教育施設としての側面があります。大田原市に脈々と息づき、長い歴史的文化遺産を若い世代のうちに学び、それらを大切にし、更には未永く伝承していただきたいという願いが込められておりま

す。那須与一伝承館の入館料を中学生以下は無料としておりますのも、このような理由からであります。同じ敷地内にあります道の駅那須与一の郷は、ある意味で利益を追求する施設であります。那須与一伝承館は文化教育の現場として利潤追求とは異なる目的を持つている施設でもあります。那須与一伝承館は昨年十月に開館したばかりで実績等も不確定な部分がありますので、将来は指定管理者制度を導入するにしても、当面は指定管理者を設置せず、市直営の運営で対処してまいりたいと考えております。

平成20年4月から
**後期高齢者
医療制度**
が始まります。

75歳以上（65歳から74歳まで、厚生労働大臣が定める障がい認定を受けている方を含む）の方が加入する制度で、平成20年3月中旬に、加入者一人一人に対し「後期高齢者医療被保険者証」が交付されます。

●これまで加入していた国民健康保険及び国民健康保険から保険となり、4月以降は、今までの被保険者証の利用はできません。

●保険医療機関等に受診する際は、窓口にて「後期高齢者医療被保険者証」を提示してください。

●また、「後期高齢者医療利用度額適用・標準負担額減額認定書」、「後期高齢者医療特定受給者証」をお持ちの方は、併せて提示してください。

●栃木県後期高齢者医療広域連合が主体となり運営されます。

●各種届出の受付等については、お住まいの各市町窓口で行います。

栃木県市町・栃木県国民健康保険団体連合会

新制度の周知徹底を図るためのポスター